

12月24日 2学期終業式 校長講話

全校児童のみなさん、おはようございます。校長先生から2学期終業式のお話をします。

今日のお話で校長先生がみなさん一番伝えたいことは、「労い(ねぎらい)」の気持ちです。この言葉は、高学年のみなさんでもなかなか知らない思いでの、今日、覚えて帰ってください。「労い(ねぎらい)」=いろいろと大変なこともあったけど、それにくじけず、よく頑張ってくれてありがとう。そういう気持ちです。その気持ちを少しふくらませて伝えます。

今日は12月24日。8月25日から2学期が始まり4か月。振り返ってみると、9月はコロナのいろいろで大変でした。10月前半はまだどうなるかわからないという不安がありました。10月後半になってやっと少しずつ学校生活が落ち着き、毎日の学校生活でできることも増えていきました。

遠足に行けた。教室から鍵盤ハーモニカの音や歌声がきこえる。休み時間には運動場に元気なみんなが走り回る。少しずつ元に戻っていく感じが嬉しかったです。

この4か月の2学期、コロナのいろいろに負けず、みんなほんとうによく頑張ったと思います。

この言葉は、実はちょうど1年前の終業式にも同じ気持ちで話しました。1年たってもますますひどいコロナのいろいろを経験するとは思いませんでしたが、それだからこそ、一層の気持ちを込めてこの言葉を話したいです。全校児童のみなさん、先生たち、事務員さん管理作業員さん給食調理員さん、毎朝通学路に立ってくれる見守り隊のみなさん、そして、教頭先生も校長先生も。みんなほんとうによく頑張った。「労い(ねぎらい)」の気持ちです。

春がくる頃には、楽しくおしゃべりしながら給食を食べられるようになればいいですね。遠慮なく大きな声で歌が歌えるようになるといいな。マスクをせず友だちや先生の笑顔が見られるようになるかな。完全に元に戻る日がやってきますように。そもそも1年生と2年生は元の小学校生活がどんなものが知らないことがかわいそうです。

さて、明日から冬休みです。今年は曜日のならびの関係で少し長い冬休みです。何日あるか知っていますか。17日間です。

まず、しっかり休みましょう。心も身体も。生まれ変わったくらいのピカピカの気持ちになれますように。

次に、宿題は計画的に終わらせましょう。2学期の勉強を復習できればもっといいです。お家の人们も助けてもらいましょう。

さらに、年末年始・お正月をしっかり味わいましょう。除夜の鐘はきけるかな。お餅つきや廻揚げをする機会があれば最高ですね。お年玉はもらえるかな。

そのうえで、新しい1年に本当にかなえたい目標・そのためにますます頑張れるような目標を決められれば素敵です。新年の抱負といいます。どんな目標を決めたのか、担任の先生に話してくださいね。

それではみなさん、良いお年をお迎えください。

始業式にあけましておめでとうございますと言い合えればいいですね。寒くなって朝のみなさんのあいさつの声が小さくなっていたので、3学期は大きな声のさわやかなあいさつを毎日ききたいです。

以上で校長先生の2学期終業式のお話を終わります。